



さんさん通信

10・11月号

VOL. 66

2019. 10. 1

～こんにちは、“子育てひろばさんさんさん”です～

子育てひろばさんさんさん

ひろばってなあに？

おいでよ！
さんさんひろば

さんさんひろば

毎週火曜日（祝日除く）

午前10:30～午後3:30まで

「ひろば」は気軽に立ち寄り、誰かに会える
フリースペースです。

誰でもいつでも参加できます。

子育て中の親子のための ひろば です。

誰もがゆっくり育ちあう場所です。



ひろばの風景 ～また会えたね！～

さんさんひろばにはいつも親子の笑顔がいっぱいです。そして今年の夏は格別、なつかしい笑顔があふれるひろばになりました。入園やお引越しなどで会えなくなった親子が7月・8月の夏休みの時期に「さんさんひろば」で集合しました。

7月23日、以前この通信でもご紹介したドバイ在住のこうちゃん親子は、なんと今年2月にドバイで生まれた弟を連れてひろばに帰ってきてくれました。

8月20日には2年前に東京にお引越ししたけんちゃん親子も、初めましての妹を連れて帰省先からひろばに遊びに来てくれました。

そのたびに、同じ頃にひろばで出会った親子が集まって、まるで毎週会っていたかのようにそれぞれの子育ての近況話で盛り上がります。

子どもたちが大きくなっているのはもちろんですが、妹や弟が増えて、いつものひろばがとても狭く感じたスタッフでした。

さんさんひろばで子育ての時期を共有したというつながりをいつまでも大切にしてくれるママたちに感謝です。



はいチーズ(^ ▽ ^)



初めましての妹同士





これからのさんさんひろば



10月

月	火	水	木	金	土	日
	1 さんさんひろば	2	3	4	5 ブックマルシェ	6
7	8 さんさんひろば	9	10	11	12	13
14	15 さんさんひろば 講座:なかよしのひろば	16	17	18	19	20
21	22 即位礼正殿の儀	23	24	25	26	27
28	29 さんさんひろば	30	31			



10月の子育て講座・・・なかよしのひろば 15日(火) 11:00～

「聴いてほしいな。聴かせてほしいな。今のきもち。」

「町の鎮守の森なかよしえん」の寺崎先生を囲んでのフリートークです。
考えや思いには間違いはありません。『ひとこと』発してみませんか？

おひざ de コンサート♪ 開催決定しました！

今回で11回目となる「おひざ de コンサート」の開催が決定しました。
これまでとは異なる時期での開催になります。詳しくは次号の「さんさん通信」
でお知らせします。

出演者：川野久美子さん（ソプラノ歌手）

日時： 2020年2月23日（日）午前10時30分～

会場： エスプラッツホール



要チェック！！





11月

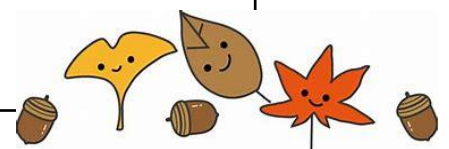
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
4 振替休日	5 さんさんひろば	6	7	8	9	10
11	12 さんさんひろば	13	14	15	16	17
18	19 さんさんひろば 講座:絵本のひろば	20	21	22	23 勤労感謝の日	24
25	26 さんさんひろば	27	28	29	30	



11月の子育て講座は・・・絵本のひろば 19日(火) 11:00～

秋のおはなし会です。実りの秋を味わったり、落ち葉や木の実を使って遊んだり、秋も楽しいことがいっぱいですね。

そんな秋を感じる絵本やお話を紹介します。どうぞお楽しみに♡



葉っぱの色がいろいろ変わるのはどうして？

秋になると色づく山々、身近な公園や街路樹の樹木たち。繰り返す季節の風景です。

でも「紅葉」と漢字では紅を当てているけれど、赤くなるのばかりじゃありません。モミジは赤くなるけれどイチョウは黄色いし、茶褐色、赤褐色、…?? どうしてでしょう？

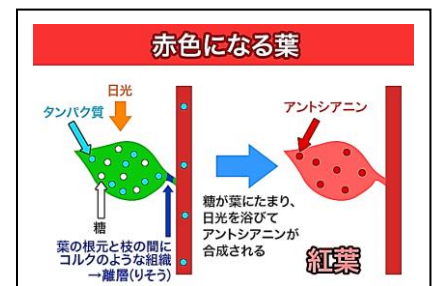
調べてみましたよ！(図)

秋も半ばになり日照時間が短くなると、樹木は厳しい冬を乗りきるため、葉っぱと枝との間に「離層（りそう）」という小さな細胞の層を作って、葉っぱに水分や養分がいかないようにするのだそうです！

赤くなるのは、葉っぱに残った養分が離層によって行き場がなくなり、「糖」や「アミノ酸」となって葉っぱに蓄積され「アントシアニン」という赤い色素を作るため。

一方、黄色くなるのは、葉緑素の「クロロフィル」が壊れ、もともと葉っぱにあった「カロチノイド」という黄色い色素が表に出てくるためです。ちなみに、黄色い色素は新しく作られるのではなく、緑色に隠れていたものだそうです。

落葉時に葉が赤褐や茶褐色などに変わるのは、紅葉、黄葉と同じく葉緑素が分解されて回収され、もともと葉に蓄えられていた褐色色素が目立つようになるからなのだそうです。



★お子さんと一緒に「秋」を楽しんでください。 (参考) <https://images.app.goo.gl/Xj8Z5Eq4WM5gVrsH7>

北陵高校ボランティア部の皆さん、ありがとうございました。

7月30日（火）の 絵本のひろばに 北陵高校ボランティア部の皆さんが来てくださいました。初めは、大きいお兄ちゃんやお姉ちゃんたちに戸惑い気味の子どもたちでしたが、高校生の方から「一緒に作ろう♪」と声をかけられ、キャラクター折紙作りに取り組みました。高校生は、小さな子どもたちが分かりやすいように、ゆっくり丁寧に教えてくれ、可愛いキャラクター折紙ができあがって、子どもたちはとっても嬉しそうでした。

その後も、高校生手作りの輪投げや的あてゲームを楽しんだり、一緒にバスごっこをして遊んだり、全力で遊んでくれる高校生に子どもたちは大喜びでした。たっぷり遊んだ後に、人形劇「赤ずきんちゃん」が始まりました。役になりきって人形を動かす高校生たち。思わず人形に近づいていく子どももいて、劇は大盛り上がりでした。

普段はなかなか接する機会がない高校生との楽しい触れ合いに、ママたちから「いっぱい遊んでもらってとても楽しそうでした。」「全力で遊んでくれて有難かったです。」などの感想が聞かれました。高校生たちの方も、小さな子どもたちと遊んだり、生後3ヶ月の赤ちゃんを抱っこしたりと慣れないながらも一生懸命に取り組んでくれました。顧問の先生からも「高校生にとっても貴重な体験なんですよ」というお話があり、みんなで楽しい時間を過ごすことができ良かったな」と思いました。日頃の準備や練習など大変だったことと思います。北陵高校ボランティア部の皆さん、本当にありがとうございました。



心の箸やすめ

言葉には うるさき母が「おばあちゃんてちゅよ」と言えり 霜月三日

歌集「生まれてバンザイ」（俵 万智）より

私の母もそうでした。「でちゅ」「まちゅ」は使わなくとも「ワンワン」「アムアム」「チリンチリン」などオノマトペ大放出でした。赤ちゃんことばは良くないと言われているものの、思い出すのは その懐かしいことばの響きとやわらかな時間。そして母と赤ちゃんだった娘の笑顔です。成長と共に「ワンワン」は「犬」になり「アムアム」は「食べる」というように ことばも変化していきました。今日も赤ちゃんは その愛らしさで 世のおばあちゃんたちに「おばあちゃん言葉」を使わせ、心を和ませてくれているのかも知れませんね。



スタッフ大募集中!

「子育てひろばさんさんさん」は、



多くのおとなが手をつなぎあって子育てを支援していくことが大切だと考えています。

「さんさんひろば」をいっしょにやってみませんか？

賛助会員も随時受け付けています。

お問い合わせ・入会申し込み

子育てひろばさんさんさん

佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル7F 市民活動プラザ No.103

TEL/090-3011-0333

FAX/0952-40-2011

